令和７年度とよかわデジモニ第６回アンケート結果
「シティプロモーションに関するアンケート」

概要

■目的

市では、多くの方に本市の魅力を知っていただけるよう、シティプロモーション活動を行っています。今回、「シティプロモーションに関するアンケート」を実施し、シティプロモーション活動のさらなる充実を図るための参考とします。

■アンケート対象者

令和7年度とよかわデジモニ モニター100人

■回答期間

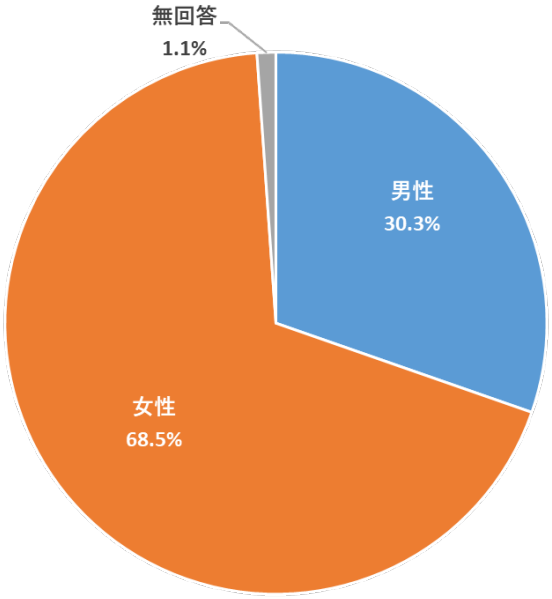
令和7年12月10日（水）から12月24日（水）まで

■回答者数（回答率）

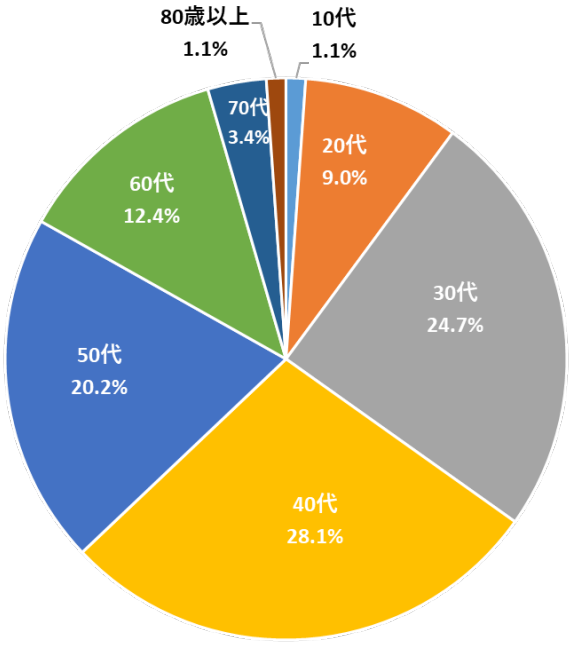
89人（89%）

■回答者の内訳

性　別	回答数	%
男性	27	30.3
女性	61	68.5
無回答	1	1.1
合計	89	



年　代	回答数	%
10 代	1	1.1
20 代	8	9.0
30 代	22	24.7
40 代	25	28.1
50 代	18	20.2
60 代	11	12.4
70 代	3	3.4
80 歳以上	1	1.1
合計	89	



※比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第２位を四捨五入して算出しています。このため、合計が 100 にならない場合があります。

担当課の総論

「豊川市の住みよさ」（問２）について、「住みよい」（46.0%）、「どちらかと言えば住みよい」（49.4%）を合わせた“住みよい”が95.4%という結果でした。一方、「どちらかと言えば住みづらい」（3.4%）、「住みづらい」（1.1%）を合わせた“住みづらい”は4.6%という結果でした。「豊川市の魅力と感じるところ」（問３）については、高い項目から順に「日常の買物が便利である」、「緑などの自然環境に恵まれている」、「交通の便が良く、通勤・通学に便利である」という結果でした。「今後も豊川市に住み続けるか」（問５）については、「ずっと住み続ける」（35.6%）、「できればずっと住み続けたい」（37.9%）を合わせた定住意向は73.6%という結果でした。

わかものワークショップについて、「同様の活動に年齢制限がなければ、参加したいですか」（問８）について「参加したい」（61.8%）、「市民と一緒に考える活動についてどのように思われますか」（問９）について「今後も継続すべきだと思う」（55.1%）、「必要に応じて行うべきだと思う」（43.8%）を合わせた“必要性”は98.9%という結果でした。

「広報大使の番組を視聴したことはありますか」（問１２）について、「「渡辺いっけいのとよかわ来てみん！」「とよかわキャスト」を視聴したことも聞いたこともない」（58.4%）が多い中、「広報大使の番組は豊川市の魅力を発信できていると思いますか」（問１３）は、「思う」（18.0%）、「どちらかと言えば思う」（44.9%）を合わせた“発信できている”が62.9%という結果でした。

これらの意見を参考に、多くの方に豊川市の魅力を発信できるよう、より充実したシティプロモーション活動に取り組んでいきます。

元気なとよかわ発信課

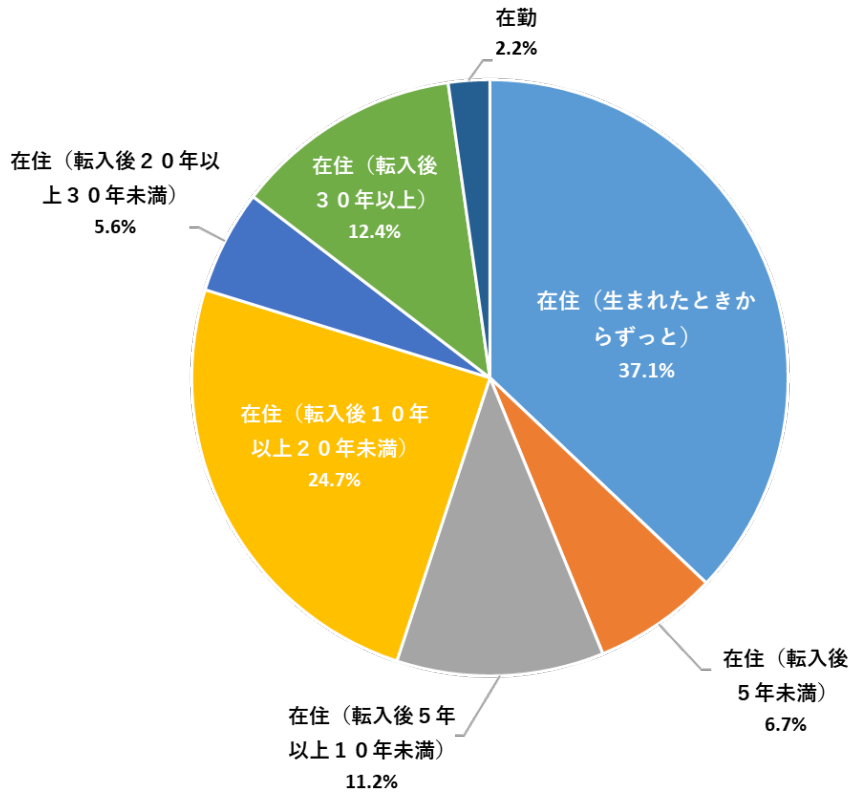
アンケート集計結果

※比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第２位を四捨五入して算出しています。このため、合計が100にならない場合があります。

※その他・自由意見については、原則ご記入いただいた原文のまま記載をしていますが、表記誤りなどについては訂正し、アンケート内容と関係ない意見については掲載しない場合があります。

【1】豊川市に在住、または在勤ですか。また、住んで何年になりますか（1つ選択）

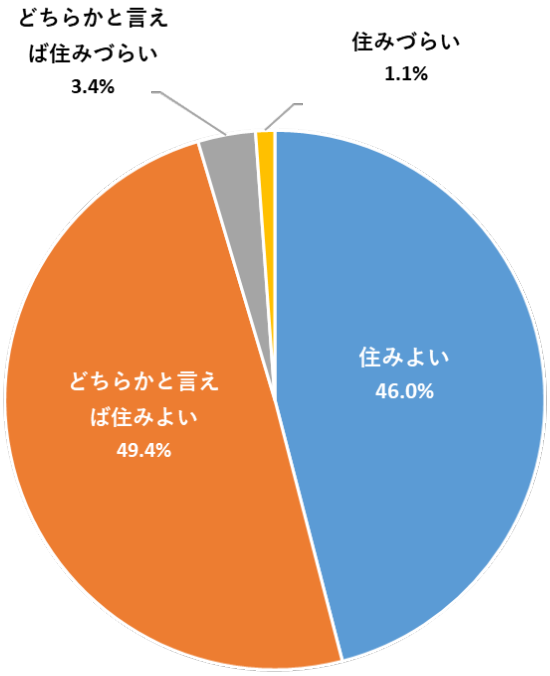
項目	回答数	%
在住（生まれたときからずっと）	33	37.1
在住（転入後5年未満）	6	6.7
在住（転入後5年以上10年未満）	10	11.2
在住（転入後10年以上20年未満）	22	24.7
在住（転入後20年以上30年未満）	5	5.6
在住（転入後30年以上）	11	12.4
在勤	2	2.2
合計	89	



【2】豊川市に住んでどうですか（1つ選択）

【1】で「在住」を選択した方のみ（対象者87人）

項目	回答数	%
住みよい	40	46.0
どちらかと言えば住みよい	43	49.4
どちからと言えば住みづらい	3	3.4
住みづらい	1	1.1
合計	87	

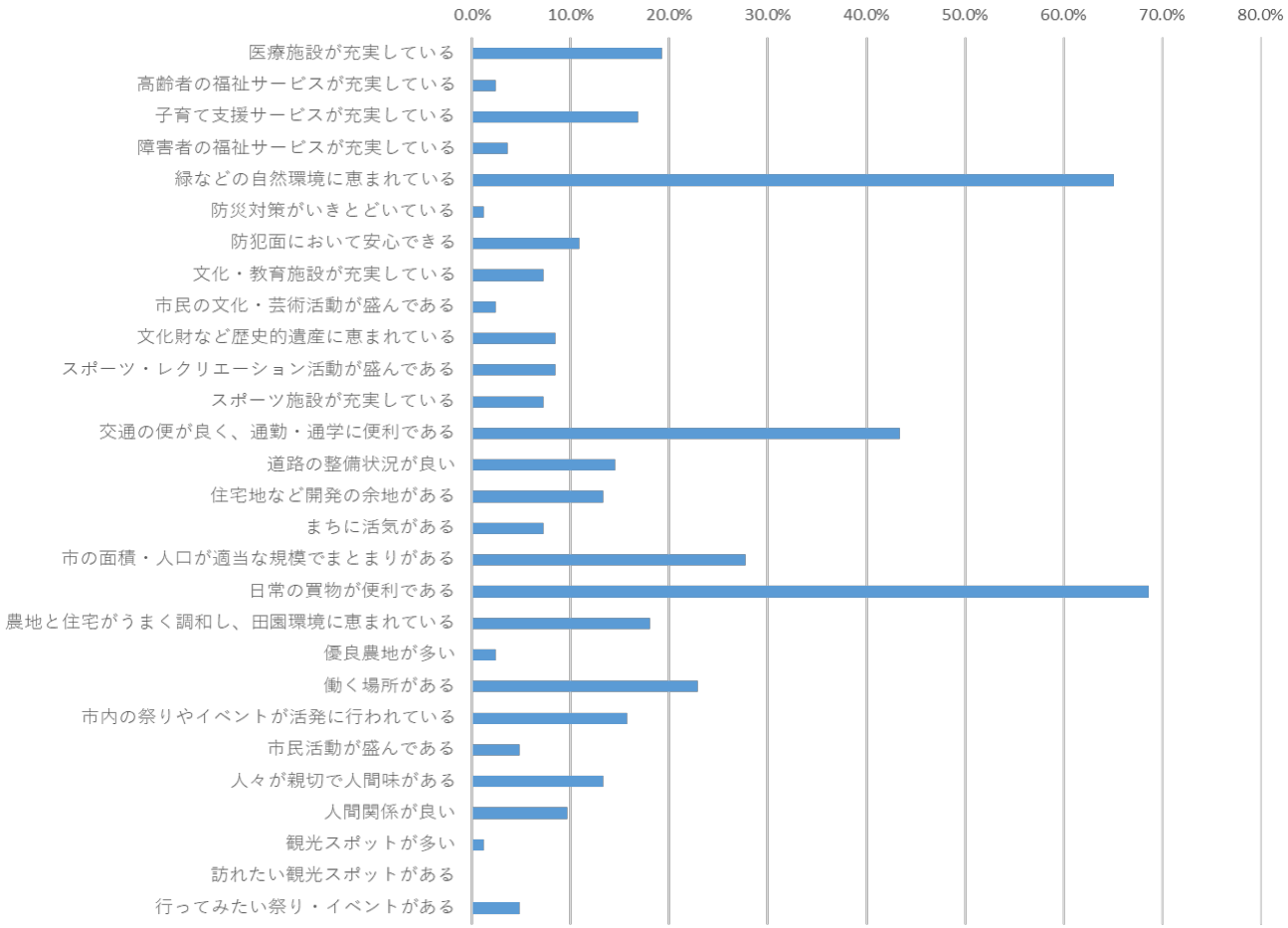


【3】豊川市のどこが魅力だと考えますか（複数選択可）

【2】で「住みよい」「どちらかと言えば住みよい」を選択した方のみ（対象者 83 人）

項目	回答数	%
医療施設が充実している	16	19.3
高齢者の福祉サービスが充実している	2	2.4
子育て支援サービスが充実している	14	16.9
障害者の福祉サービスが充実している	3	3.6
緑などの自然環境に恵まれている	54	65.1
防災対策がいきとどいている	1	1.2
防犯面において安心できる	9	10.8
文化・教育施設が充実している	6	7.2
市民の文化・芸術活動が盛んである	2	2.4
文化財など歴史的遺産に恵まれている	7	8.4
スポーツ・レクリエーション活動が盛んである	7	8.4
スポーツ施設が充実している	6	7.2
交通の便が良く、通勤・通学に便利である	36	43.4
道路の整備状況が良い	12	14.5
住宅地など開発の余地がある	11	13.3
まちに活気がある	6	7.2
市の面積・人口が適当な規模でまとまりがある	23	27.7
日常の買物が便利である	57	68.7

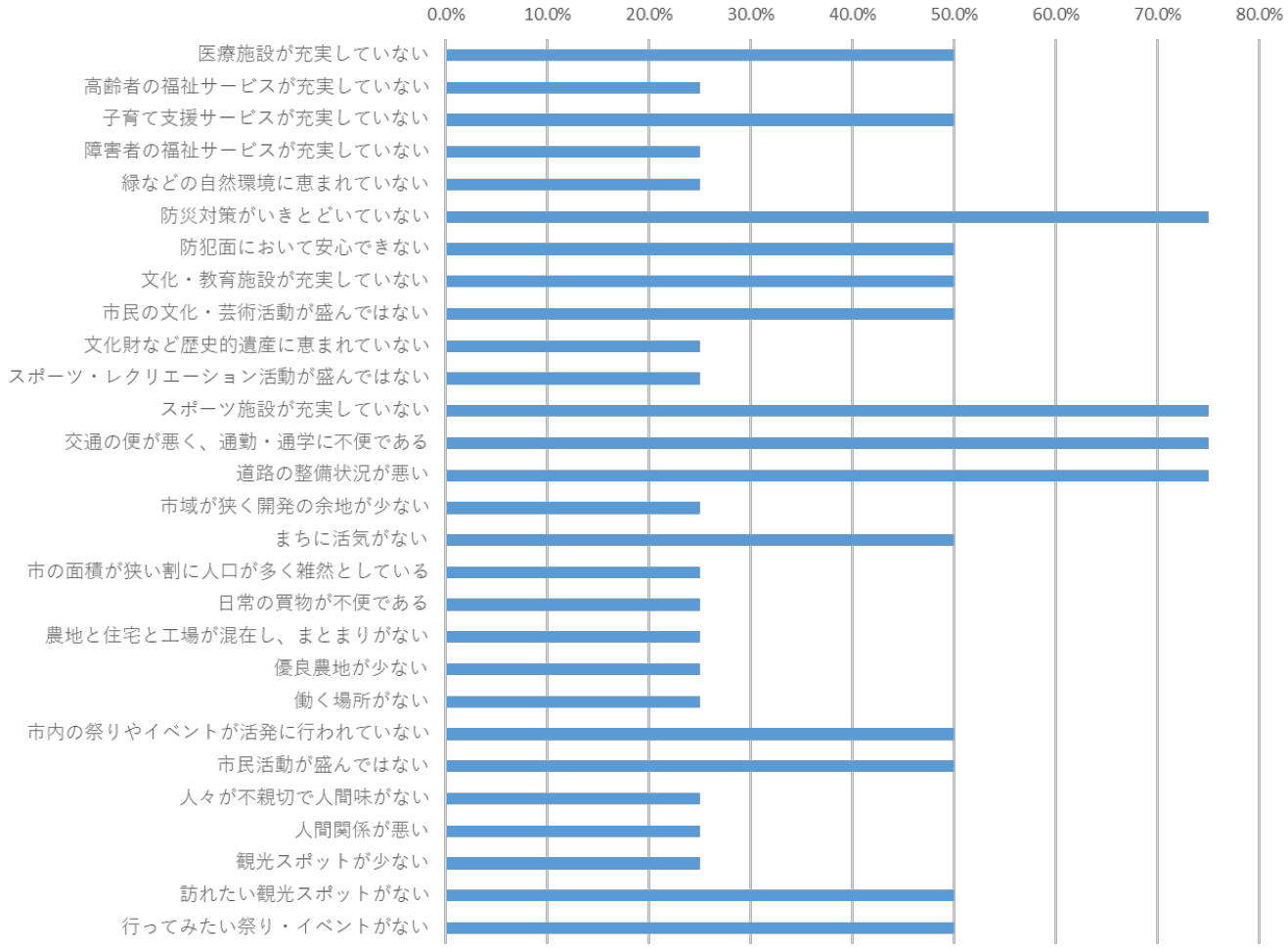
農地と住宅がうまく調和し、田園環境に恵まれている	15	18.1
優良農地が多い	2	2.4
働く場所がある	19	22.9
市内の祭りやイベントが活発に行われている	13	15.7
市民活動が盛んである	4	4.8
人々が親切で人間味がある	11	13.3
人間関係が良い	8	9.6
観光スポットが多い	1	1.2
訪れたい観光スポットがある	0	0.0
行ってみたい祭り・イベントがある	4	4.8



【4】豊川市のどこに魅力がないと考えますか（複数選択可）

【2】で「どちらかと言えば住みづらい」または「住みづらい」を選択した方のみ（対象者 4 人）

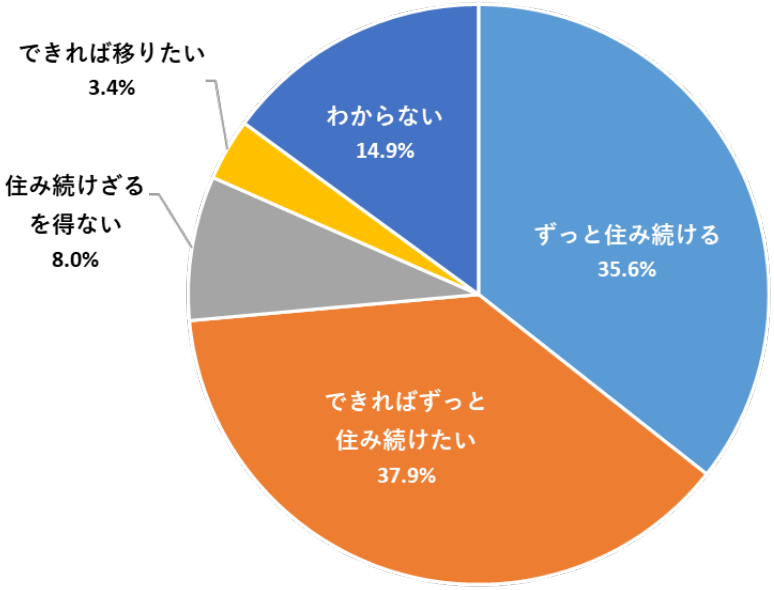
項目	回答数	%
医療施設が充実していない	2	50.0
高齢者の福祉サービスが充実していない	1	25.0
子育て支援サービスが充実していない	2	50.0
障害者の福祉サービスが充実していない	1	25.0
緑などの自然環境に恵まれていない	1	25.0
防災対策がいきとどいていない	3	75.0
防犯面において安心できない	2	50.0
文化・教育施設が充実していない	2	50.0
市民の文化・芸術活動が盛んではない	2	50.0
文化財など歴史的遺産に恵まれていない	1	25.0
スポーツ・レクリエーション活動が盛んではない	1	25.0
スポーツ施設が充実していない	3	75.0
交通の便が悪く、通勤・通学に不便である	3	75.0
道路の整備状況が悪い	3	75.0
市域が狭く開発の余地が少ない	1	25.0
まちに活気がない	2	50.0
市の面積が狭い割に人口が多く雑然としている	1	25.0
日常の買物が不便である	1	25.0
農地と住宅と工場が混在し、まとまりがない	1	25.0
優良農地が少ない	1	25.0
働く場所がない	1	25.0
市内の祭りやイベントが活発に行われていない	2	50.0
市民活動が盛んではない	2	50.0
人々が不親切で人間味がない	1	25.0
人間関係が悪い	1	25.0
観光スポットが少ない	1	25.0
訪れたい観光スポットがない	2	50.0
行ってみたい祭り・イベントがない	2	50.0



【5】今後も豊川市に住み続けますか（1つ選択）

【1】で「在住」を選択した方のみ（対象者 87 人）

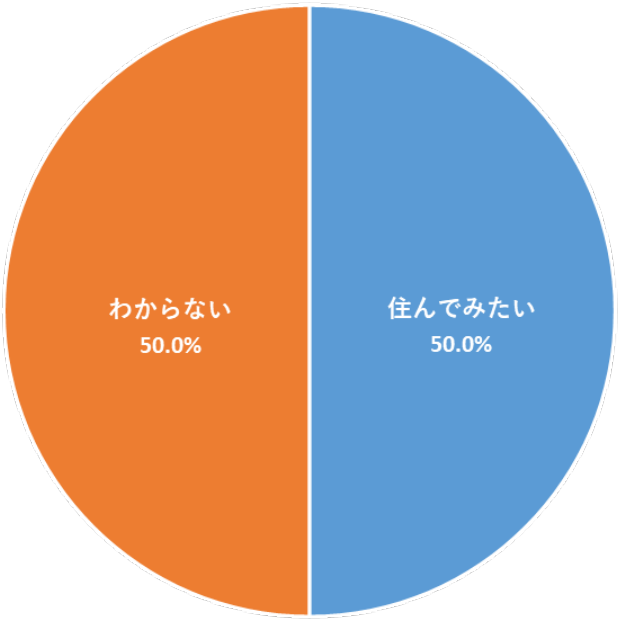
項目	回答数	%
ずっと住み続ける	31	35.6
できればずっと住み続けたい	33	37.9
住み続けざるを得ない	7	8.0
住み続けたいが移らざるを得ない	0	0.0
できれば移りたい	3	3.4
わからない	13	14.9
合計	87	



【6】今後、豊川市に住んでみたいと思いますか（1つ選択）

【1】で「在勤」を選択した方のみ（対象者 2 人）

項　目	回答数	%
住んでみたい	1	50.0
住もうとは思わない	0	0.0
分からない	1	50.0
合計	1	



問 7～11 は「わかものワークショップ」についてお聞きします。

豊川市の認知拡大やブランドイメージの向上、シビックプライドの醸成を図るため「豊川市シティプロモーション戦略」を策定しています。策定にあたり、市内在住、在学または在勤の高校生世代から30代までの方を対象に「わかものワークショップ」を開催しました。「わかものワークショップ」では、市の魅力を分かりやすく伝えるためのブランドメッセージや令和8年度以降に実施する事業を一緒に考えました。

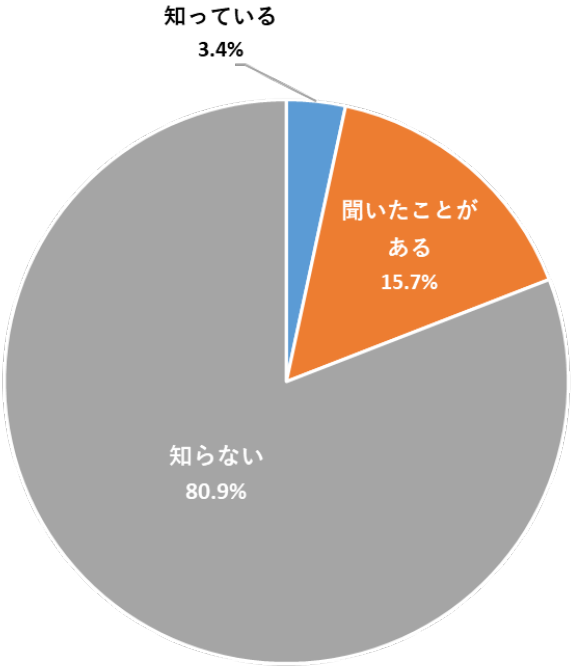
詳細については、こちらの URL よりご確認ください。

【参考】豊川市ホームページ

https://www.city.toyokawa.lg.jp/soshiki/kikaku/genki/1/7/1/24923.html

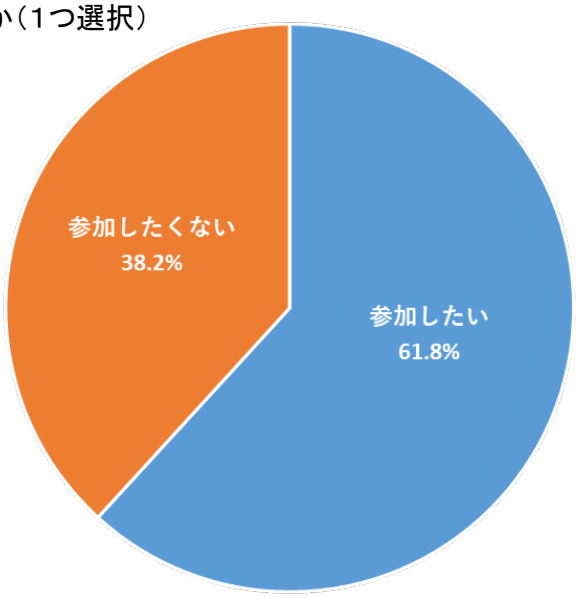
【7】わかものワークショップについて知っていますか（1つ選択）

項　目	回答数	%
知っている	3	3.4
聞いたことがある	14	15.7
知らない	72	80.9
合計	89	



【8】上記のような活動に年齢制限がなければ、参加したいですか（1つ選択）

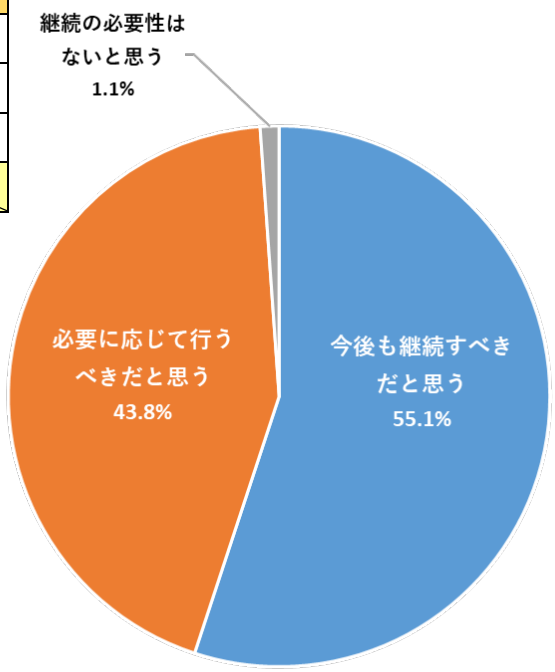
項　目	回答数	%
参加したい	55	61.8
参加したくない	34	38.2
合計	89	



参加したくない理由
・忙しいから。 ・子どもと過ごす時間を削ってまで行く必要性を感じなかったため ・内容に興味が持てないから ・子どもがいて家庭生活が忙しいため、そこまでの余裕がないから。 ・これからは、若い人たちの意見やアイデアが必修だから。 ・多人数で何かを行うことが基本的に苦手です。余暇の時間はむしろ足りなくて個人的にやりたいことがたくさんあるためそちらに時間を割きたくありません。 ・若者ではないため ・興味がないから ・今は特に興味がないため ・そこまで魅力的ではなかった ・人前に出ることが得意ではないから。 ・興味が湧かない ・他で忙しいから。 ・イメージが湧かないから ・興味がないから ・家族や子供と過ごす時間を大切にしたいため。 ・よくわからないから ・趣味の時間に費やしたいから ・興味がわかないため ・人と話すことが得意ではない為 ・仕事と子育てで忙しい ・若い人との交流が苦手だから ・一人で子供を育てているため時間に余裕がないから ・子供を置いて行けないから ・時間に余裕がないため ・特に興味が湧かない。やりたい事も思いつかない。 ・活動の趣旨がよく分からないため、誰に豊川市の魅力をアピールしてその人にどうして欲しいのかそこまではっきり書いてない。 ・時間的な余裕がない。また、年齢的に柔軟な発想ができなくなってきたからです。 ・特に魅力を感じない。ワークショップが好きではない。 ・現在７１歳。これからの豊川市を作っていくには「わかもの」の自由な発想が必要不可欠で、高齢者が出しゃばるのは遠慮すべき。ただし、意見を求められればそれに応えるのはやぶさかでない。 ・制限がないとしても、時間的余裕がないから ・子育て中のため託児がないと参加が難しい ・学業など、他にやることが多いから。地域活動などにはあまり興味がないから。 ・仕事、介護　があるので、参加したいとも思わない

【9】市民と一緒に考える活動についてどのように思われますか（1つ選択）

項　目	回答数	%
今後も継続すべきだと思う	49	55.1
必要に応じて行うべきだと思う	39	43.8
継続の必要性はないと思う	1	1.1
合計	89	



継続の必要性はないと思う理由
興味がないから

【10】市を PR するために市民と一緒に行うと良いものはありますか

例）市民が豊川市の魅力を発信する SNS を市と共同して運営する

豊川市について毎日インスタ更新する
SNS 全盛の時代なので、もちろん利用するのはいいと思いますが、やっぱりテレビで放送されると注目もされるので、何かアピールできるといいなと思いますね。
TikTok に力を入れる。豊川市出身 or 在住の若者を公開オーディションしてアイドルグループ or ダンスグループ or 若手俳優 or 若手声優として育成する。
転居の時に、どうすれば豊川市を選んでもらえるか？のアイデアを市民から聞くと良いと思いました
ふるさと納税の返礼品に、親しみやすく安価で納税できる返礼品の開発をする。漫画の聖地巡礼ができるように、漫画家に豊川市が舞台になるような作品を依頼する。
地域のまつりなどは各町内会が行っていると思いますが、そのような市民の活動を広める力は町内会にはありません（情報発信）。それを市でサポートして活気を伝えるのが良いかと思います。
よほどの影響力がある内容でもないかぎり SNS などで発信したところでそれで人が豊川市に興味をもち行動に影響することなどまずないだろうと考えています。市が発信などしなくても魅力的な場所や働き場があれば自然と SNS で取り上げられるようになるでしょうし、人も集まると考えております。

上記の「（例）市民が豊川市の魅力を発信する SNS を市と共同して運営する」をベースにしての案ですが、過去の SNS 発信は一方向型で都合の良い偏向放送でした。提案したいのは「双方向コミュニケーション」を加味した SNS 発信です。主な SNS 発信はリールやショート動画と呼ぶ1分以内の動画、『一つの話題を対極関係の意見等をぶつけて、豊川市ならではの状態を提示する』⇒『一つの話題(観光、経済、政治的なのも含み行政)を対極関係の意見等をぶつけ(市民複数、市議員も)、豊川市ならではの状態を提示(行政代表は広報大使や市の職員、イナリン等も有)』市民参加と行政、市議員の参加で「豊川市は、市民と行政と立法が街を豊かにしている」と未解決な事例を含めて前向きな豊川市を PR できると考えています。
豊川市をアピールできるようなステッカーを作り車に貼ってもらう（ご当地ナンバー的な感じの効果を狙う）
SNS の活用
豊川でも魅力を感じる所は、それぞれの地域によっても違うので、住んでいる地域のどんなに小さな魅力的なことでも良いので、他の地域のすごい所！魅力的な所！好きな場所！など見てみたい！知りたいなとも思う！
企業とコラボしたらどうですか。
SNS を共同して発信して、たくさんの人が参加できる運営
豊川市に閉じていてはダメだと思う。周辺を巻き込んで考えるべきではないか？豊川市の玄関口でもあるはずの豊川駅はボロボロ、市の設備も老朽化が目立ちます。市民プールを更地にしてテニスコートを造ったが、市民の何割が利用する施設なのか？本当に必要なものは何？私の住む町には、路線バスが通るがバス停は無い。道路の都計にあたり、迂回となることから大型トラック・バスが無理に通るようになり、道路標識は常に曲がる。交通事故が多発してか制限速度が下げられた。四方八方を川に挟まれ、指定避難場所へは橋を渡る必要があるが、豪雨の際には渡れるとは思えない。魅力を見つけるのも良いが、やるべき事は着実にやって欲しい。課題は魅力があったとしても見えなくなくします。
マルシェなどの催し。SNS もいいと思います
お祭りなどで市民の参加出来る項目などを増やして豊川愛を深まれたら良いと思う
市を PR する取り組みとしては、市民が日常で感じる豊川の魅力を気軽に共有できる仕組みがあると良いと感じています。例えば、おすすめスポットや子育てで助かった場所、美味しい飲食店などを写真と一言コメントで募集し、市の SNS や広報媒体で紹介する企画です。実際に暮らす人の視点は、観光情報だけでは伝わりにくい豊川らしさを自然に表現できると思います。 また、市の YouTube や番組の企画づくりに、市民がテーマ案を提案できる仕組みも面白いと思います。若い世代や子育て世代が「取り上げてほしい内容」を寄せることで、より多くの人に届く番組づくりにつながります。さらに、SNS 投稿が得意な市民が、市の発信内容のアイデアに協力できる場づくりも良いと感じます。硬くなりがちな広報を、市民の感覚で少しカジュアルに整えることで、見てもらえる機会が広がると思います。
食育やお花の寄せ植えのイベント参加しましたが、そのようなイベントはすごく充実し子供にとっても有益だったと思いました。なので、子育て世代にそのようなイベントをしていること自体をもっと大きく PR してもよいと思いました。
豊橋まつりみたいに、全小中学校の作品展と物産展を 1 ヶ所で行う 豊川市は全てが中途半端

市民と、行政が一緒に健康に関するイベントをする。
すぐに取り組めるアイデア – フォトコンテスト（#とよかわタイムス連動）：市民が日常の風景や特産を投稿する形式。公式 SNS と連携して入賞作品を市広報に掲載すると参加意欲が上がります。 – 市民参加型ワークショップ：いなり寿司やバラ栽培など地元の体験教室を定期開催し、観光客向けプログラム化する（体験を通じた PR は観光協会の方針にも合致します）。 中期継続で効果が出る施策 – 地元グルメフェア＋クーポン連携：LINE クーポン等で来訪を促進し、参加店舗と市民が共同でメニュー開発することで経済効果を生みます。 – ボランティア観光ガイド育成：市民が案内役になることで「人の魅力」を伝えやすくなり、祭りや季節イベントでの案内体制を強化できます。
市と市民が共同して、歴史や、お祭りと花火の魅力を発信した方が良いかと思います。SNS や、ラジオなど幅広く PR してみては。
インスタなどの発信を増やしていけば良いかと思います。共同で運営よりもフォローを増やしていけば良いかと思います。
もっと SNS を活用して広く知られると良いかと思います
デジタルでの情報発信
例えば全国高校駅伝など全国区のイベント応援に「市民の大応援団」を送り込み、同時に特産品や景勝地などの紹介アイテムにも工夫をこらし、メディアに載る機会を増やす。応援団参加市民の旅費等は市から一部助成し、市民の負担軽減は必要と思う。
VR やプロジェクションマッピングやドローンショーの活用例がまだまだ目新しいと思う。今ならまだこれらのツールを活用することで PR 効果が大きいと思う。
例えば、砥鹿神社や本宮の湯、本宮山登山口などに QR コードの看板を置き、そこで読み取って、X などでポスト、リポストすると抽選で市の特産品をもらえるなどの活動を行うとよい PR になると思う。
各家庭に配る新聞を一緒に作る

【11】あなたが市と一緒に PR するとしたら、どんな活動をしますか

例）豊川市公式 SNS の投稿をリポストする

健康体操の紹介。かなり前だが、はじまりの体操を知ったときに、定期的に行う体操としてオススメしたことがある。動画が体操だけ流れるので使いやすかった。
もっと稲荷門前を活性化して旅行や観光を盛り上げたい
市のイベントに参加してその様子を Instagram や Google マップに発信する。
市のイベントに参加する。地域活動や企業活動の写真を投稿する
無用だと考えているので活動はしたくありません。
有名人のイベントを行う。参加したらブログ記入する。

・ゲームでいなりんのスキンを販売する ↓ それをゲーム内で身につけてアピール ・いなりんの LINE スタンプや絵文字を販売する ↓ LINE をする時に使ってアピール
リポストなど簡単でてきそうなことなら、協力したいです
豊川の広報など通じて、今回の号は〇〇町の魅力好きな所をアンケート取り、集計してお披露目してほしい！来週は次の〇〇町の魅力など！アンケート答えた方には、豊川で使えるクーポン券 100 円、500 円など、電子クーポンの発行をしてはどうかな？
祭りやイベントの写真を SNS に更新する際に、市の公式 SNS などをタグ付けする。
SNS のリポスト
SNS をいいねしたり、拡散する。
ふるさと納税を充実させる
みてみん の失敗を繰り返さえないように静観する
SNS でハッシュタグをつけるようなイベントの企画。ハッシュタグ豊川市で投稿すると抽選で何か当たるとかハッシュタグ豊川市で投稿したら参加出来るイベントなど。
投稿のリポスト
イベントなどに参加をする
市民として PR 活動に関わるとしたら、SNS 発信の内容づくりを手助けしてみたいです。発信そのものは市の公式アカウントが担う形で、私自身は「どんなテーマが若い世代に届きやすいか」「どんな表現が市民目線としてリアルか」といった部分をサポートできたら嬉しいです。また、飲食店や観光スポットについても、市の媒体を通じて紹介できれば嬉しいです。実際に利用した体験をもとにしたコメントは、市の魅力をリアルに伝える力があると思いますし、一市民として発信に関われることはとてもやりがいを感じられると思います。子育て世代としての視点から「実際に助かった点・便利だった点」などを伝えることで、同じ世代の方にとって参考になる情報を発信できると感じています。
いなり寿司についてもっと全国に広げる
健康に関するイベント
市のイベントに参加し、内容や感想を Instagram や X に投稿すると何かもらえるなどしたら PR する人が増えると思います。
- 食べ歩きフェス＋スタンプラリー：豊川稲荷表参道の店舗と連携し、限定メニューやスタンプで回遊を促進。参拝客だけでなく市民が店主と共同でメニューを考える仕組みを作ります。 - 市民フォト＆ショート動画コンテスト：日常の風景、いなり寿司の“食べ方”、バラの季節の写真を SNS で募集し、入賞作を観光パンフや駅ポスターに採用します。 - いなり寿司ワークショップ＆ガイド育成：地元の老舗や若手店主と協働し、「いなりの作り方教室」や門前町ツアーを市民ガイドが案内する仕組みを作ります（門前町は食文化の宝庫で多様ないなりが楽しめます）。 - とよかわバラを使った体験・商品化：バラ園でのワークショップ、バラを使った加工品やフォトスポットを市民と共同で企画・販売します。

SNS・X で投稿
X やインスタはやってないので、E メールなどで、市が投稿を受け付けてくれたら、たくさんできると思います。
投稿する素材（写真や記事）を提供すること
まだ自分に何が出来るのかわかりません。
防犯、交通安全の取り組み
リポストすると何か特典をつける
豊川市の魅力を発信するための提案を直接担当課やステークホルダーに提言する。
登山が趣味なので、本宮山登山のボランティア案内（本宮山、砥鹿神社の歴史について）をしたい。
アナウンサーのような立場にたち、おすすめスポットを紹介する
Instagram のリール動画や TikTok など、短い動画のほうが見る回数が多いから、それらで PR 活動を行う。

問 12～14 はとよかわ広報大使の取組についてお聞きします。

豊川市出身でとよかわ広報大使の渡辺いっけいさんが豊川市の思い出の地やおすすめスポットを巡り、豊川市の魅力を PR する YouTube 番組「渡辺いっけいのとよかわ来てみん！」、同じく、とよかわ広報大使を務める小林拓一郎さんが、豊川市で頑張っている人やゆかりのある方々と対談し、その方が感じる豊川市の魅力や豊川市への思いを引き出し、豊川市の魅力を発信する Podcast「とよかわキャスト」を配信しています。

【Podcast とは】 インターネットで配信されるいつでも聞けるラジオ番組のこと

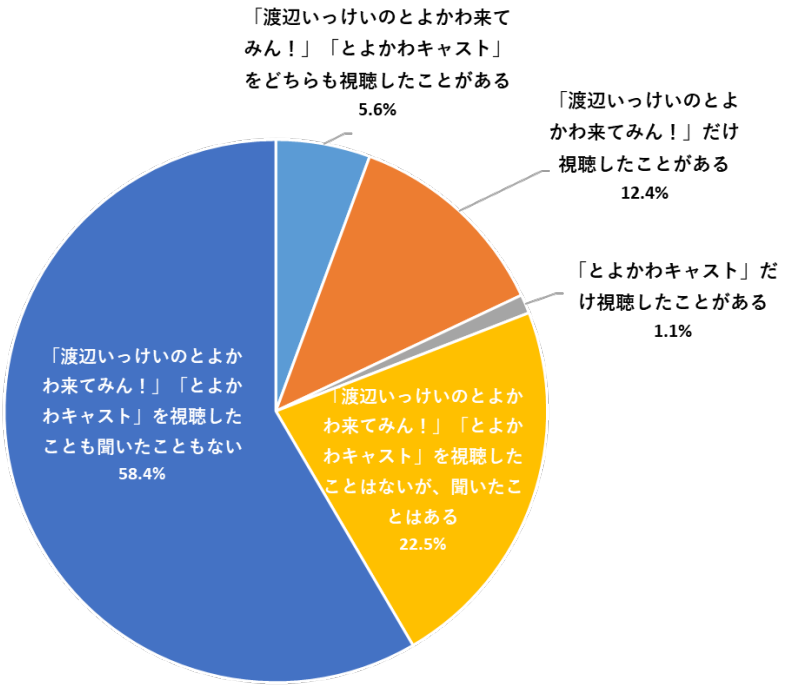
【参考】豊川市ホームページ

渡辺いっけいさん https://www.city.toyokawa.lg.jp/soshiki/kikaku/genki/1/2/22557.html

小林拓一郎さん https://www.city.toyokawa.lg.jp/soshiki/kikaku/genki/1/2/1456.html

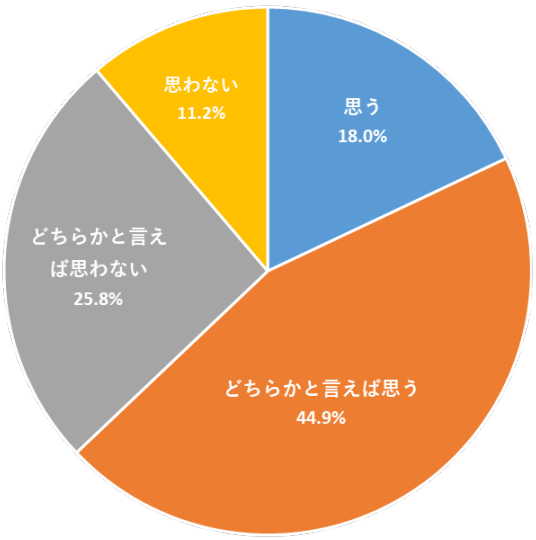
【12】広報大使の番組を視聴したことはありますか（1つ選択）

項目	回答数	%
「渡辺いっけいのとよかわ来てみん！」「とよかわキャスト」をどちらも視聴したことがある	5	5.6
「渡辺いっけいのとよかわ来てみん！」だけ視聴したことがある	11	12.4
「とよかわキャスト」だけ視聴したことがある	1	1.1
「渡辺いっけいのとよかわ来てみん！」「とよかわキャスト」を視聴したことはないが、聞いたことはある	20	22.5
「渡辺いっけいのとよかわ来てみん！」「とよかわキャスト」を視聴したことも聞いたこともない	52	58.4
合計	89	



【13】広報大使の番組は豊川市の魅力を発信できていると思いますか（1つ選択）

項　目	回答数	%
思う	16	18.0
どちらかと言えば思う	40	44.9
どちらかと言えば思わない	23	25.8
思わない	10	11.2
合計	89	



【14】広報大使の番組について改善点などがあれば入力してください

私たちが知らないんだから、あまり周知はされてないのでしょうか。残念ですね。ラジオを聴いているのでコバタクさんはいつも ZIP で聴いていますが…まず番組を周知してもらうことですよね。
移住するときの魅力を伝えたいのか、観光に来て欲しいのか、どういう目的の PR なのかがよくわかりませんでした。どういう目的の PR 動画にしたいかをはっきりした上で作成すると良いと思いました。
なにかにクローズアップして届けることも良いと思いますが、番組感を出すよりも、豊川の日常を伝える（ふらふら旅してインタビューするような、月曜から夜ふかしとか鶴瓶に乾杯、ポツンと一軒家的な番組）ような感じがいっけいさんの人柄も更に伝えられるし、豊川の良いところもじわりと伝えられるのではないか。
強く興味を持てない理由は「一方向型で都合の良い偏向放送」だからです。PR などに必要な要素は「情報に共感性が含まれているか」です。 「情報に共感性を含ませた」番組内容を検討してみたらどうでしょうか？
若い人が渡辺いっけいを知っているか？
番組の事を知らなかったのでせっかく有名なお二方を起用してるのでもっと宣伝しても良いと思う 公共施設で流すなど
渡辺いっけいさんでは地味だなとは思います。
とよかわキャストや「豊川きてみん！」は素敵な取り組みだと思う一方、もう少し良くなる部分もあると感じています。まず、更新がゆっくりで最終更新がだいぶ前ということが気になりました。若い世代は更新日から「今どれくらい動いているのか」を読み取るので、定期的にチェックされていると安心感があります。また、番組の内容が 40 代以上向けに感じられ、若い世代が楽しめる企画が少ない印象があります。YouTube 自体の紹介が市内であまり目に触れないので、市役所のテレビ広告やチラシなどで知ってもらえる工夫があると嬉しいです。加えて、小中学生が出演する企画があれば自然と視聴が広がり、家族の話題にもなりそうです。SNS と連動し、短い動画や裏側の様子も発信されると、もっと身近に感じられると思います。テーマが少し偏っている点もあるので、子育てや飲食等の内容が増えると、多くの世代が楽しめる番組になると感じました。
広報大使の番組があることすら知りませんでした。もっと広めるべきだと思います。
その番組があることを知らなかった為、番組の宣伝がもっと必要だと思う
もっと若者が集まりそうな音楽のイベントとかをやるとか
1. 尺と配信頻度の最適化：現在は数分のエピソード中心ですが、15〜60 秒のショート動画を並行配信して SNS 拡散を狙う（TikTok・YouTube ショート）。短尺は視聴ハードルが低く拡散しやすいです。 2. 市民参加の導線を明確化：視聴者から「行ってほしいスポット」を募集する仕組みは既に動いているため、投稿フォーム＋ハッシュタグキャンペーンで応募を定期化すると参加率が上がります。 3. ストーリーテリングの強化：単なる紹介ではなく、“人 × 歴史 × 体験” の 3 軸で回す。例：いなり寿司の店主の一日、バラ農家の季節仕事、ボランティアの活動。 4. KPI と PDCA の導入：再生数だけでなくコメント数・視聴維持率・来訪クーポン利用などを設定し、次回企画に反映する。
小林拓一郎さんは、ZIP FM の DJ で、毎日聴いています。ネットではなく、ラジオからでも、広報大使の豊川市 PR の番組が聴けるといいかと思います。
リアルのイベント露出などを増やして欲しい

内容的に、豊川市民なら見るかもしれないが、市外の人がわざわざ見るようなものではないと思いました。このお二人もよく知らないし、別に豊川市に縁のある方が出ればいいというわけでも無い気がします。
番組を見なければ知るきっかけにもならないので、番組をつづけていく
豊川の広報は見ていますが、周知されましたか？番組があることをもっと周知する必要があると思います。
CC ネットに協力していただいて、TV でも放送したほうが良いと思う。

【15】ご意見がありましたらお聞かせください

（シティプロモーション活動を充実させるためのご意見を入力してください。）

何をプロモーションしていくのか、よくわからないので、まず方向性を決めたらいいのではないでしょうか。観光なのか子育てなのか、なんでもしようとすると中途半端になりそう。
広報活動だけでシティプロモーションを行うのは難しいのではないかと思いました。移住してほしいことを目的とするのであれば、例えば、他の市にはない子育ての支援策を準備した上で、その内容をプロモーションするのが良いと思います。子育て支援策の例を挙げましたが、歳を取ったときに車の運転ができなくても生活を支援するような仕組みができると良いと思いました。
映画の撮影誘致を積極的に行う。豊川稲荷の参道の整備をし、映えスポットや食べ歩きで長時間滞在できる整備。
有名人を採用するのもありだと思うが、市の職員を派遣して街のみんなのインタビューやお祭りの裏側などを見せたほうが市民の方も活動に対して充実するのではないか。
市民が広く認知し、忙しい方でもたくさん視聴できるよう手軽なものになるといいです。TikTok など
若者に向けた SNS を。
日々、忙しく市のイベントを意識したり、知ろうと言う気持ちがあまり持てない。
豊川市の問題解決を、市民、市議員(立法)、市職員(行政、イナリンも可)で行っている姿を動画配信してはいかがでしょうか？こども食堂に熱心な議員もいます。空き家対策や、管理不全行為による大量再建築不可区域など、全国的問題を豊川市行政的解決の模索している姿。お米券など物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に関して、ただの記者会見でなく、ショート動画で問題点を指摘しながらの意見表明をする。
もっと市民のみんなが参加出来る、一緒に活動が出来るものを増やして市民の一体感が増えたらどんどん宣伝になると思う。
わかものワークショップについて補足です。活動内容の PDF を読んだのですが、これまでのワークショップでどのような意見が出て、どんな取り組みが行われたのかという報告が見当たらず、参加を判断する材料が少ないと感じました。参加者の方々が考えた「豊川の魅力」や、市の紹介案を見てみたいと思います。また、ブランドメッセージをつくる過程で、どんな意見が出て、どのような方向性を目指しているのかも知りたいです。今後の活動イメージがつかめると、参加のハードルが下がると感じます。活動写真で顔が媒体に掲載される点も気になるため、こちらも配慮があると参加しやすいと思います。さらに、HP に

埋め込まれている動画について、スマホからだと表示サイズが大きすぎて再生が難しい点も気になりました。今はスマホで情報を得る世代がほとんどなので、HP を作る際、スマホでの表示確認も行っていただけると幸いです。
ネットに限定せず、ラジオやテレビ、商業施設でのイベントなど、幅広く、活動してほしいなと思います。
奇をてらってバズることを狙うより、クオリティの良い記事をコツコツ配信でいいかなと思います
今更ですが、「豊川ゆたか」さんの一連の流れはなんだかしりつぼみのようになってしまいとても残念に思います。
子ども、若者が中心となった情報発信
B1グランプリ、稲荷ずしまつり、ゆるキャラまつり（イナリンがいるので）、手筒まつりのような、豊川市といえばこれ！と呼べるようなイベントを開催したほうがよい。
豊川市の強み（いなり寿司・バラ・人の物語）を軸に、 市民参加型の短尺動画＋体験プログラム＋KPI で PDCA を回す施策 を優先します。 全体方針 豊川市は既に公式サイトや SNS、番組、イベント支援制度など複数の発信チャネルを持っています。これらを連携させ、市民が発信者になる仕組みを強化すると効果が高まります。さらに人を掘り下げる WEB マガジンの事例を活かし、ストーリー中心の発信を増やします。 --- 具体施策（短期～中期） - 短期（1～3 ヶ月）：15～60 秒のショート動画シリーズを週 2 本配信し、フォトコンと連動して UGC を集める。公式ハッシュタグで拡散を促す。 - 中期（3～12 ヶ月）：市民参加のワークショップ（いなり作り・バラ加工）を定期化し、参加者を番組や記事で紹介する。若者ワークショップの成果をプロモ戦略に反映する取り組みを継続する。
既存の魅力の発信を昔ながらの広報大使が担うのも良いですが、VR(AI)キャラクターを登場させて、発信だけではなく、双方向でリアルタイムに話ができるようなシステムを全国に先駆けて運用することで、魅力の発信だけではなくシステムそのものの活用事例としても話題性が今ならあると思います。
学生さんの力を借りてどうしたらよいか話してもらうといい気がします。